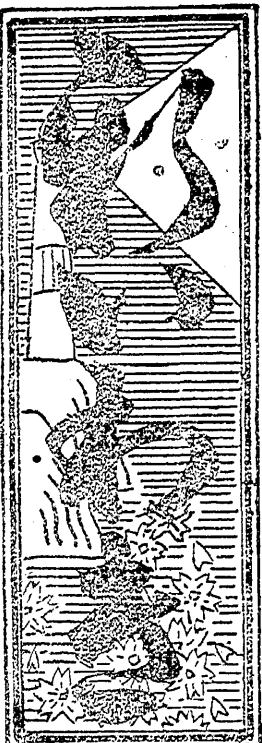


日二十月一十 刊夕



昨日大祭日 日曜大祭日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 三十一日

彼も彼も 仕合せづくめ 愛谷堰の大成功

石城の名所に足る美観 清流約二千坪のプール

政府から十三萬二千五百圓かに進歩せしめると唱ひらの補助を受けた總工費二十餘萬圓の石城堰の堰戸六萬五千圓の石城堰夏井村二十六枚が雨水の氾濫によ外五ヶ町村に亘る田圃五百つて六十町歩の灌漑水利と上流地帯に於ける水害除去の

救生を 計る愛谷堰

の改修は去る昭和元年以來形を止め鐵柱の堰橋延長二江堀の修工から實に六ヶ年十六箇月を要し本年夏井村堰入口の可動堰に十五萬圓を投じて工事中であるが本縣耕地課堤主任技師の設計指導に關係委員等の

熱心なる監督によつて

つて急上竣工に近づき残る工事は取入口の暗渠高五尺八寸巾五尺二寸の延長百十間のみで之れも既に四分の一を進工し本年一杯には竣工に落成の見込で現場に盛大なる

竣工式を挙ぐる

になつてゐる同江堰は縣下工費十萬圓の簡易保險局よつた所意外にも融資成り難に於ては勿論東北にも珍らしいもので埼玉縣矢島のチヤノアン式地伏堰よりも遙

の賑はひをまで 想像さ れてゐるが 今春の着工以來殆んど無障害の幸運で大成功を待たるつてから總てが官儀的となつて小賣人は一様に不便を感じてゐる、殊に配給方法の失當により常にバツト其他下級品の品切れ頻出することと既報したが最近も亦販賣所と小賣人との買買に小切手を廢止し一切現金といふことになつたので小賣人の一部では非常な不便と不安を感じてゐる者もあるが常時大量を買受けてゐる市内一等地の小賣人側の語る所によれば

堤防改修の 陳情

神谷村長等が 夏井村宇山崎地内夏井川堤防は五年度中工費千六百七十圓を以て改修したがこのため對岸の神谷村大字中神谷大字地内は豪雨の都度水害を蒙るところから同村村長他代表者數名は此程井上縣議と共に平土木監督所へ出頭、前記地内堤防二百間を是非今年度中に對岸と同等の高さに改修されたしと懇に對し取計ひ方を陳情した

名所の 一として

しからず殊に平水七尺の深さを湛へる堰の上約二千坪の天然プールは河底に落ちた針一ツすら見えさうな清流なので明年夏の水泳期

漸く交付と決定 伏見町長確答を得て歸平

平町が起債した上水道擴張逓信局へ出頭して交付を願つた所意外にも融資成り難の懸念に水の水の回答を受けられたので九日夜伏見町長は東京して逓信省局へ出頭

不安で不便極まる 直營後の煙草賣買

お役人煙草屋に對する 小賣人の非難益々高し 煙草販賣が專賣局直營となつてから總てが官儀的となつて小賣人は一様に不便を感じてゐる、殊に配給方法の失當により常にバツト其他下級品の品切れ頻出することと既報したが最近も亦販賣所と小賣人との買買に小切手を廢止し一切現金といふことになつたので小賣人の一部では非常な不便と不安を感じてゐる者もあるが常時大量を買受けてゐる市内一等地の小賣人側の語る所によれば

勿來三株線改修

十八日郡山市小田原地内で町鎌田地内徘徊中捕はる 勿來町大字窪田字上途地内縣道三株勿來停車場より分岐し同町大字白米字山玉境地内に至る巾四米延長二千二百六十五米の町道は川部村大字山玉に至る最も重要路線であるが現在道路は路面狹隘隘曲甚しく勾配急なので改修の必要に迫られ再三之が改修方を當局に陳情の結果十一日附で工費十三萬圓で認可され近く着手する

不景氣知らず 濱三郡木炭同業組合

去月中の検査俵數 濱三郡木炭同業組合に於ける去月中の検査俵數は 石城 五九、〇三二俵 双葉 五六、七六七 相馬 一五、九三八 計 一三二、七三七 昨年度の十萬三千四百九十八俵に比すれば二萬八千二百三十九俵の増加で沈滞した財界にこゝばかりは断然不景氣知らずである

前科二犯の賊

當時住所不定無職赤井村大字赤井生れ前科二犯前科三犯伊助三は去月廿日赤井村大字大平三浦伴七留守宅へ忍び込み現金八圓及び衣類數点を窃取したのを手初縣警署並に縣農事講習同窓會主催の馬耕競技大會は二つたこと發覺、十一日夜半

人妻殺し收容

既報一植田署管内錦村大字大倉に於て去る九日夜人妻を殺害した信太郎上町生れ日雇業梅ヶ枝末造(四)は同署で關係者と共に取調べ中であつたが今十二日午前十一時一分着列車で平檢事局に護送され直ちに刑務所に收容された

哀れ病ルンペン

北海道夕張炭山宇鹿の谷牛れ蘇馬田清之進(三)は二ヶ月前喉頭結核を患ひ失職し知人なる内郷村大字高木榮作を訪ねて事情を訴へたが断られ途方に暮れて十一日夜平署へ給與方を願ひ出した

俳句

喜久の薫り(三) 満壽莊主人 白菊や貝を根に置く海十が宿 野坡 海士はあまど詰み漁村の漁は白菊でなくと黄菊ではと問ふ人あらば答へて曰はん 只白菊があつたから白菊や

憎ま

耶蘇教とは どう云ふ宗 教なんだイ 此れは何ん でもエースが發明した人心の矯正器でアームを吹込めば人間が死んで天國と云ふ宙ブラリンの國へ移れるなんぞと正直な者を欺き宣教師に飯を食はせて居るものでツマリ佛教が坊主を生活させる爲の嘘と道斷なんだ、右の横面を殴られたら有難うと云つて左の方をもガンと云ふ程叩いて貰ふ宗教で四海兄弟だの四海同胞だのとぬかしてゐるが裏面では盛んに異人種の排斥や虐待をやらかし絶對平和主義を標榜して他國民を煽動し資金まで提供して内亂を起させ或は獨立運動をやらせる宗教、正義人道を唱ひて非正義非人道の行爲をやらかし姦淫を大罪と云ひながら姦淫を行ひ禁酒禁煙を神に誓ひ言はれ人知れずアルコールに氣分を上げ慈善鍋をたき廻つて同情をねだることに巧みな宗教なんであるんである

馬耕競技大會

縣農事講習同窓會主催の馬耕競技大會は二つたこと發覺、十一日夜半

石城剣道會總會

廿三日平商校で 石城剣道會總會第四回秋季總會夫妻を指して云ふ此海士の宿問ふ人あらば答へて曰はん 只白菊があつたから白菊や

前科二犯の賊

當時住所不定無職赤井村大字赤井生れ前科二犯前科三犯伊助三は去月廿日赤井村大字大平三浦伴七留守宅へ忍び込み現金八圓及び衣類數点を窃取したのを手初縣警署並に縣農事講習同窓會主催の馬耕競技大會は二つたこと發覺、十一日夜半

人妻殺し收容

既報一植田署管内錦村大字大倉に於て去る九日夜人妻を殺害した信太郎上町生れ日雇業梅ヶ枝末造(四)は同署で關係者と共に取調べ中であつたが今十二日午前十一時一分着列車で平檢事局に護送され直ちに刑務所に收容された

哀れ病ルンペン

北海道夕張炭山宇鹿の谷牛れ蘇馬田清之進(三)は二ヶ月前喉頭結核を患ひ失職し知人なる内郷村大字高木榮作を訪ねて事情を訴へたが断られ途方に暮れて十一日夜平署へ給與方を願ひ出した

根の處にいろいろの貝が置いてあるわざく置いたのかどうかは知らぬが普通な千枚萬億到底短日月に語りから石などを並べ置くべきに貝が置いてある珍らしい光景だと思つたのであるでる句も可なり多くあれは重復を恐るゝに依り今回俳句の最も墮落せりと云はる幕末時代の句を示さん

農業

水田裏作の 蔬菜栽培 (十)

本縣農試 石城分務 失ヶ崎技手
 葉葱頭用の場合には、以上よりも窒素を特に入糞尿の如きを増加する方がよい。定植後の管理としては、中耕土寄せは追肥の際に行ふのであるが、土寄せは砂地の様な乾燥する所で行ふのも良いが粘質地の餘り乾燥しない所では行はない方がよい。深く土寄せをすると球の發育を不良にするからである。假りに砂質地の様な所で乾燥する場合には行ふとしても乾く行ふて置く必要がある。然しながら葉葱頭用の場合には行ふ必要がある。次の管理としては球用のものは土掻である。五月中旬頃に球の上にある土を掻き去つて球の上部を露出せしめ、球の發育肥大を計ることが必要である。特に重い土質の場合には一層必要なるのである。然しながら砂質土の様な軽土で且つ乾燥する土地下は反つて土掻きの爲めに一層乾燥して球の肥大に障害を與ふことがあるから注意しなければならぬ。更に五月の下旬頃になつて莖が甚だしく繁茂して来たならば莖を折らないやうに注意して球の上部一寸位の處から撚曲して發分の上昇する葉の滋茂を抑へて球の發育に向けるのである。

平町 藤沼醫院 電話七〇五番

平町 市原醫院 電話一〇一〇番

お醤油は ヤマフル

醬油 味噌 味噌 たりら 正宗 鯉節 食料品

山崎合名會社 電話二七〇番

朝日 煙草

石綿セメント 朝日煙草

金屋商店

赤玉印フロン袋

松印 夜具五枚入 二圓七十錢

竹印 夜具二枚入 三圓二十錢

梅印 夜具一枚入 三圓五十錢

各種陳列目下賣出し中

本丸ほん (電話三五九)

西洋料理共に自慢の腕

サービスのよい 女給も揃つてご座います

支那料理 特別に勉強

四品付定食五十錢、五品付定食一圓

平町、四丁目 カフエー ボタン 電話五七六

服んで良くなり

淋病と 特效薬 濟淋

本舖 責任製劑 水野藥局

平町一丁目 電話八八七六

諸毒下しの大妙薬

安流丸

特約 山野 (電話三五九)

矢吹醫院

院長 矢吹大輔

電話二六六番

朝日養素

健康長壽の源泉

友澤醫學博士の實驗推薦

脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等に最も大なる効果があります。◇百圓一見に見加す一ヶ月飲んで見て下さい(一合代價六錢)

平町、四丁目 平町新川町二六 出張所

病體改造

カイソネーチャ療法

海草蒸熱療法なるが故に従来の物理療法と異り各種病症に特效あるは既に定評があります。論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ

吉田五平

中島寫眞館

平町字田町

よろこびございますか

うちりますよ